

## みどりの里親活動Ⅱ

11月1日（木）酒田市宮海字新林の西荒瀬保育園の年長組を対象とした「みどりの里親活動Ⅱ」（採取した種まき）を実施しました。

当日は11月というのに暖かい天気でありましたが、今にも雨が降り出しそうでした。

「みどりの里親活動Ⅱ」には年長組園児31名、保育園先生5名、庄内森林管理署1名、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター4名、総勢41名で木製プランターを作成し、種まきを行いました。

保育園玄関前に用意したブルーシートの特設会場において、まず、木製プランターづくりを行いました。年長組の園児達が10班に分かれて行うことになり、各班の班長には、センター職員等や保育園先生が当たりました。木製プランターづくりでは当センター職員より作り方のポイントなどについて説明しました。その後、各班（3～4名）に分かれて班ごとに組み立てることになりました。園児達は木の板をパズルのように扱い、ああでもない、こうでもないなど言葉が交わされた後、班長の指示で釘打ちにチャレンジしました。巣箱づくりで手慣れている園児の皆さんは、たちまち木の香りのするプランターを10個作り上げてしまいました。プランターには作り上げた園児の名前を入れてもらいました。園児の皆さんはマジックで名前をひらがなで書き入れていました。ひらがなとはいえ、全員が名前を書けることが立派だと思いました。

次に、プランターに土を入れて種まきを行いました。種まきをする種は、10月4日に鳥海山に行って拾って来たものです。蒔き終えた班から元気な芽が出て大きく成長するように、班ごとにお祈りを行いました。来春にはきっと芽を出してくれるものと思いました。

次に、昨年度秋種まきし、成長した苗木（ミズナラ、ヤマモミジ、アキグミ等）の10本の苗木を園児も皆さんから「しんちゃん森」に植えてもらう予定でしたが、予想していたとおり、雨が降り出してきました。急遽、予定を変更して、玄関前で記念撮影をして「みどりの里親活動Ⅱ」を終了しました。

その後、10本の苗を小雨が降るなか、当センター職員等と先生で「しんちゃん森」に植樹しました。



朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター